

家を、国内およびアジア太平洋地域を含む海外から招き、ものであり、実践的知見の共有を通じて議論を深めます。半島地震への対応は防災体制や制度設計の見直し、科学技術域的・国際的な連携などについて国内外の専門家が議論しし、災害リスクを考慮した都市の開発、社会的脆弱層への提言「壊滅的災害が想定されるメガシティの防災力強化に及た科学技術イノベーション ―

の未来

プログラム

10:30-10:45 開会挨拶、趣旨説明

10:45-12:00 セッション 1

災害事例に基づく最新の教訓

13:00-14:35 セッション 2

壊滅的災害が想定されるメガシティの防災力強化

14:50-16:45 セッション 3

世界の防災の未来に向けて (講演+パネルセッション)

16:45-17:00 議長声明

各セッションの登壇者は、日本学術会議のホームページ上に、おって公表いたします。 プログラムは変更になる可能性があります。

コーディネーター

竹内 御(日本学術会議第三部会員/東京科学大学 名誉教授)

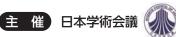
喜(日本学術会議連携会員/国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 京都大学 名誉教授)

田村 圭子 (日本学術会議第三部会員/新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授)

申込み

事前申し込みは下記 URL または QR コードから https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0346.html

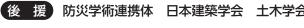
申込み締切 12月3日(水)事前参加登録へのご協力をお願いいたします。



共 催 防災減災連携研究ハブ (JHoP)



国立研究開発法人 防災科学技術研究所(NIED)



日本地震工学会 地域安全学会

問合せ 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 TEL: 03-3403-6295

令和7年

12月9日

10:30~17:00

